

ユーザー各位

IJCAD Electrical 2018 SP2

アップデート概要

2020年2月

インテリジャパン株式会社は、2020年2月1日に IJCAD Electrical 2018 SP2 をリリースいたしました。本資料では、IJCAD Electrical 2018 SP2 について IJCAD Electrical 2018 SP1 から新しくなった点をご案内いたします。

目次

新機能追加	2
ロケーションの階層化	2
ケーブル定義	2
スクート時の複数選択	2
端子台定義	3
機能拡張 - 帳票	4
帳票の出力先ページの指定	4
帳票の行数指定	4
ケーブルリストの出力	5
機能拡張 - 外形図（実装図）	6
回路図と外形図の連携	6
回路図と外形図 連携時の干渉チェック	6
機能拡張 - 整合性チェック	7
干渉チェック	7
機能拡張 - DB 連携	8
エラーボックスの一括反映	8
更新内容	9
IJCAD Electrical 機能面	9

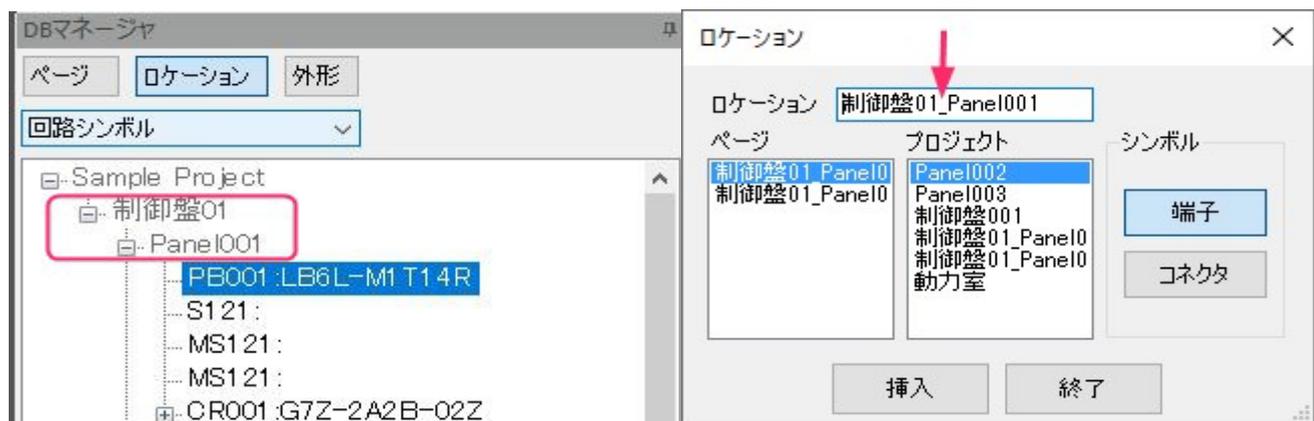
各見出しの右に表示されているカッコ内の表記は対象となる IJCAD Electrical のグレードです。
 例：(LT/PRO) … すべてのグレード、(PRO) … PRO グレードのみ

新機能追加

ロケーションの階層化

(LT/PRO)

ロケーション指定を行う際に「_」（アンダーバー）で区切ることで階層を持たせることができるようになりました。



ケーブル定義

(LT/PRO)

回路図内の盤外配線に対してケーブル定義が可能になりました。

スクート時の複数選択

(LT/PRO)

既存のスクート（Scoot コマンド）機能では1つのシンボルや配線を選択して、接続している回路の移動を行っていましたが、「複数シンボルのスクート（ScootMSymbol コマンド）」機能および「複数配線のスクート（ScootMSegment コマンド）」機能にて、複数のシンボルや配線をそれぞれ一度に移動することが可能になりました。

端子台定義

(LT/PRO)

回路図内の端子シンボルに対して端子台定義を行った場合、端子台表作成および接続端子の管理が可能になりました。

The image shows two screenshots from a software application. The top screenshot is a dialog box titled "端子台" (Terminal Block). It contains a table for defining terminal blocks and a schematic diagram on the right.

端子台番号	ロケーション	製造元	型番
TB	制御盤01_Panel001		
TB1	制御盤01_Panel001		

Form fields on the right of the dialog:

- 端子台番号: TB1
- ロケーション: 制御盤01_Panel001
- 開始番号: 1
- 製造元:
- 型番:

The schematic diagram shows a motor symbol M4 connected to a terminal block TB1 with terminals 1, 2, and 3. The terminal block and its connections are highlighted with a red box.

The bottom screenshot is a dialog box titled "帳票出力" (Bill of Materials Output). It shows settings for outputting various reports. The "端子台表" (Terminal Block Table) option is highlighted with a red box.

LocationNo	Tag
	TB
	TB001
Panel002	TB1
	TB2

Output items and their settings:

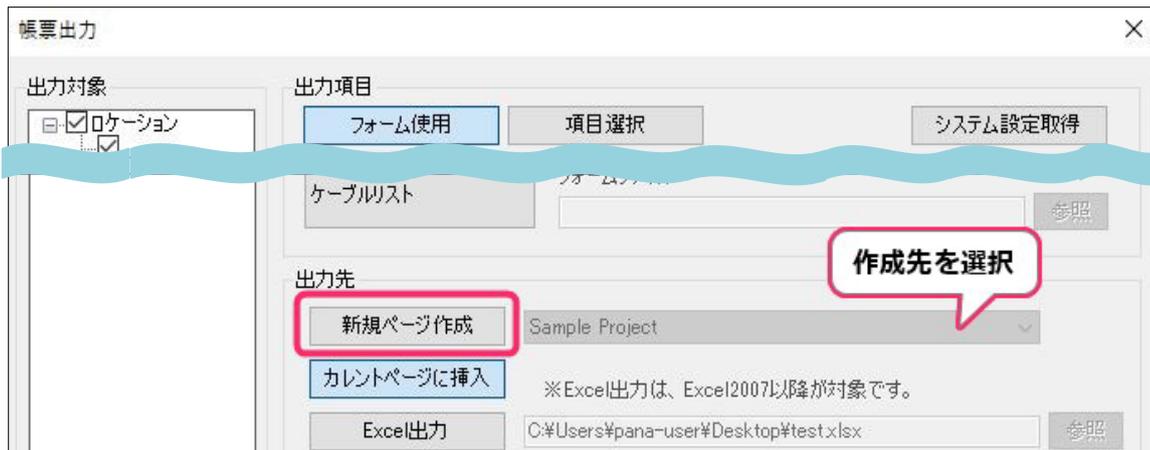
- 部品表 (器具番号 + ロケーション): フォームファイル C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\帳票¥ 参照
- 部品集計表 (メーカー + 型番): フォームファイル C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\帳票¥ 参照
- 接続リスト: フォームファイル C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\帳票¥ 参照
- 端子台表: フォームファイル C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\帳票¥ 参照**
- 目次: フォームファイル C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\帳票¥ 参照
- 機器リスト: フォームファイル 参照
- ケーブルリスト: フォームファイル 参照

機能拡張 - 帳票

帳票の出力先ページの指定

(PRO)

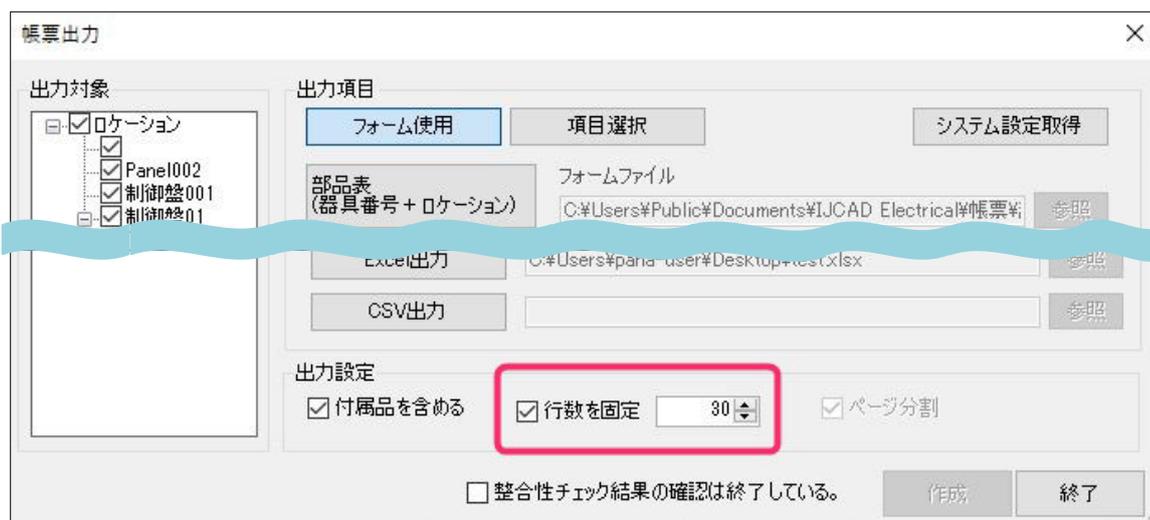
これまで帳票は既存ページにしか作成できませんでしたが、出力先として新規ページを指定できるようになりました。



帳票の行数指定

(PRO)

あらかじめ1つの帳票に作成される行数を指定できるようになりました。



ケーブルリストの出力

(PRO)

ケーブル定義した内容をケーブルリストとして出力できるようになりました。

帳票出力

出力対象

- ロケーション
 - Panel002
 - 制御盤001
 - 制御盤01
 - Panel001
 - Panel002
 - 動力室
 - 操作パネル

出力項目

フォーム使用 項目選択 システム設定取得

部品表 (器具番号 + ロケーション)	フォームファイル	C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\帳票\	<input type="button" value="参照"/>
部品集計表 (メーカー + 型番)	フォームファイル	C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\帳票\	<input type="button" value="参照"/>
接続リスト	フォームファイル	C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\帳票\	<input type="button" value="参照"/>
端子台表	フォームファイル	C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\帳票\	<input type="button" value="参照"/>
目次	フォームファイル	C:\Users\Public\Documents\IJCAD Electrical\帳票\	<input type="button" value="参照"/>
機器リスト	フォームファイル		<input type="button" value="参照"/>
ケーブルリスト	フォームファイル		<input type="button" value="参照"/>

出力先

新規ページ作成 Sample Project

カレントページに挿入 ※Excel出力は、Excel2007以降が対象です。

Excel出力 C:\Users\pana-user\Desktop\test.xlsx

CSV出力

出力設定

付属品を含める 行数を固定 30 ページ分割

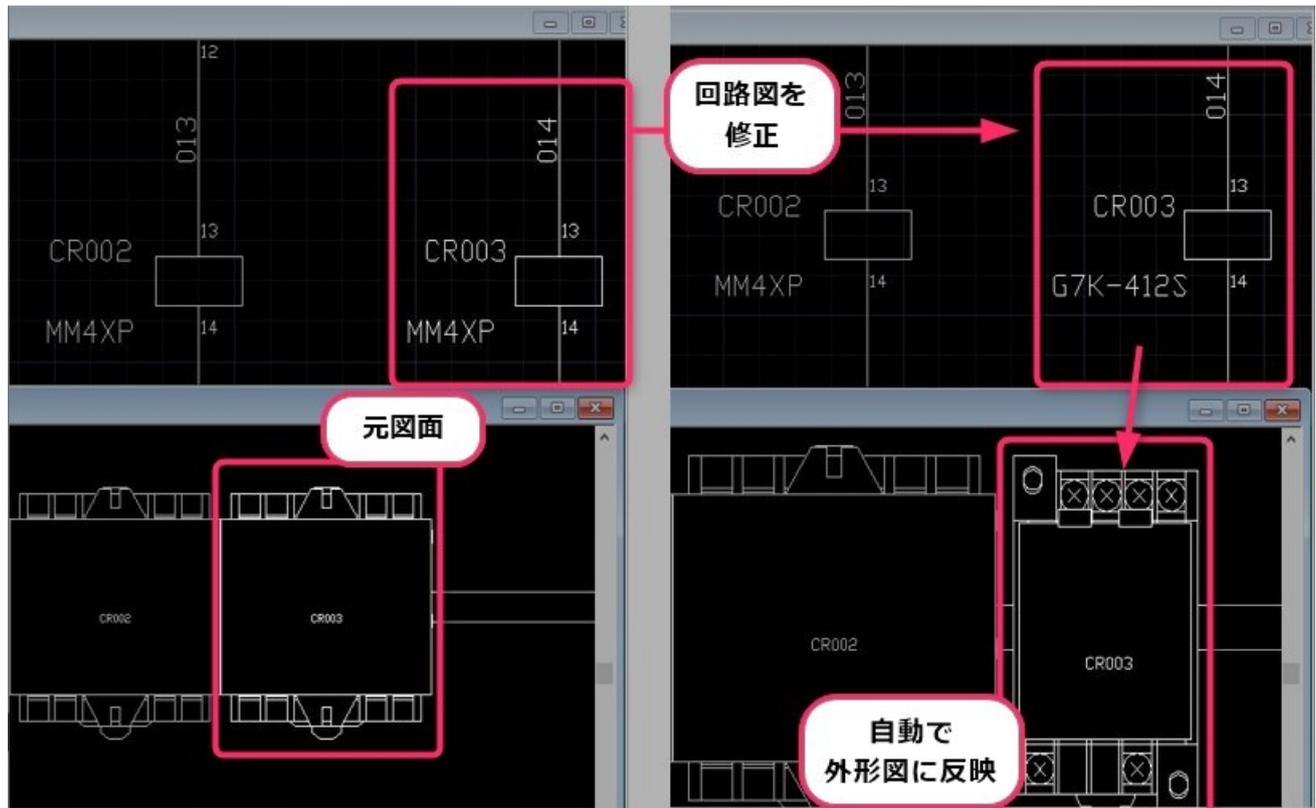
整合性チェック結果の確認は終了している。

機能拡張 – 外形図（実装図）

回路図と外形図の連携

(PRO)

回路図の設計変更で機器の型番に変更が合った場合、外形図（実装図）に配置済みの機器シンボルが自動で変更されるようになりました。



回路図と外形図 連携時の干渉チェック

(PRO)

回路図の設計変更が外形図に反映され、外形図上で機器の配置が重なってしまった場合、自動で干渉チェックが行われ対象の機器シンボルが赤く表示されるようになりました。

外形図上の機器が赤く表示された場合は手動で配置を調整してください。

機能拡張 - 整合性チェック

干渉チェック

(PRO)

外形図の設計を行った後に干渉チェックを行うことで、機器の配置が干渉している箇所が見つかった場合には対象の機器シンボルが赤く表示されるようになりました。

外形図上の機器が赤く表示された場合は手動で配置を調整してください。

The screenshot shows the '整合性チェック' (Integration Check) dialog box on the left and a CAD drawing on the right. The dialog box has a table of check items and a results table. The '干渉' (Interference) check is selected, and the result is '適合箇所あり' (Suitable locations present). The results table shows three components (CR001, CR002, CR003) with address '6-C-A'. A red arrow points to the 'アドレス' (Address) column header, with a callout box stating 'ダブルクリックで対象箇所をズーム表示' (Double-click to zoom display of the target location). The CAD drawing on the right shows three components (CR001, CR002, CR003) in red, indicating they are overlapping. A callout box points to the overlapping area with the text '機器が重なって配置' (Components are overlapping).

チェック	分類	チェック項目	結果
<input type="checkbox"/>	器具番号	重複チェック	
<input type="checkbox"/>	器具番号	未設定チェック	
<input type="checkbox"/>	ロケーション	未設定チェック	
<input type="checkbox"/>	型番	未設定チェック	
<input type="checkbox"/>	線番	重複チェック	
<input type="checkbox"/>	線番	未設定チェック	
<input type="checkbox"/>	線番	渡り接続チェック	
<input type="checkbox"/>	接点数	オーバーチェック	
<input type="checkbox"/>	接点構成	接点構成チェック	
<input type="checkbox"/>	接点表	未作成チェック	
<input checked="" type="checkbox"/>	干渉	干渉チェック	適合箇所あり

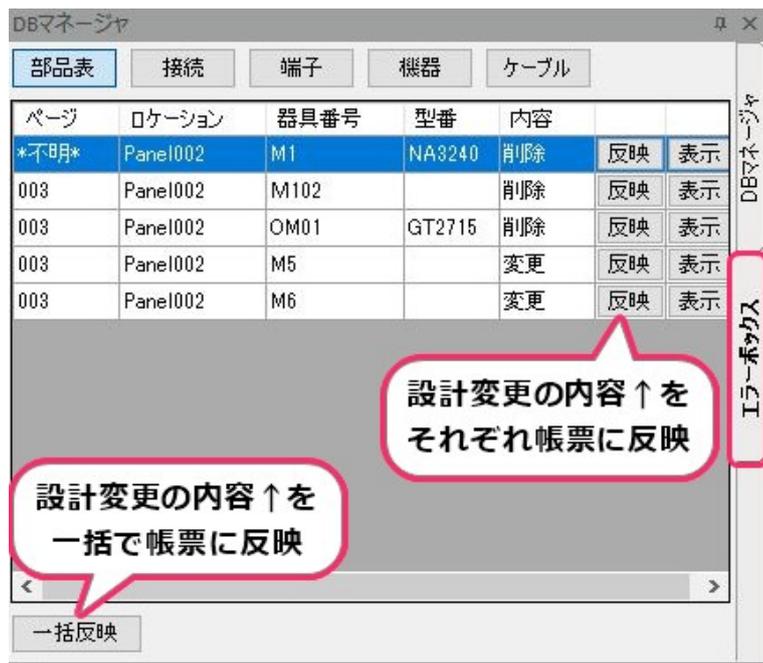
器具番号	アドレス
CR001	6-C-A
CR002	6-C-A
CR003	6-C-A

機能拡張 – DB 連携

エラーボックスの一括反映

(PRO)

帳票を配置後に設計変更が複数箇所あった際に、一括で変更内容が帳票に反映されるようになりました。



更新内容

IJCAD Electrical 機能面

- 端子台定義を実装 (LT / PRO)
- ケーブル定義を実装 (LT / PRO)
- 帳票に「ケーブルリスト」を追加 (PRO)
- 複数シンボルのスクート機能を実装 (LT / PRO)
- ロケーションの階層化機能を実装 (LT / PRO)
- 帳票作成先に新規ページを指定する機能を追加 (PRO)
- 帳票の行数を指定する機能を追加 (PRO)
- 回路図 - 外形図連携の機能を実装 (PRO)
- 干渉チェック機能を実装 (PRO)
- エラーボックスの一括反映機能を実装 (PRO)

<IJCAD に関するお問い合わせ窓口>

システムメトリックス株式会社

ウェブ : <https://www.ijcad.jp/>

電話 : 名古屋 (本社) : 052-219-8831 / 東京 : 03-3537-3282 / 神戸 : 078-599-8425